『2019火山砂防フォーラム』おいて、蔵王町立永野小学校、遠刈田小学校による研究発表に向けた第2回目の合同学習が6月24日に遠刈田小学校にて行われました。

今回の授業はリトルリバーリサーチ＆デザイン ジャパンの松本明代さんからは地形の形成について、蔵王町環境政策課松田利宣さんからは災害の歴史について、宮城県防災砂防課中出淳一主任主査さんからは松川の砂防工事について学びました。

川の水はどこから来てのどこに行くの？川はどうやってできるの？

山に雨が降り、山から染み出した湧き水が川となり海へ流れていき、またその海の水が蒸発して雨となるという水の循環や川は侵食と運搬と堆積を繰り返し、形を変えながら地形を形成してゆく様子を模型を使って解りやすく説明して頂きました。

リトルリバーリサーチ＆デザイン ジャパン 松本さんから川について説明された。

流水模型を使って浸食・運搬・堆積の様子を学びました。

蔵王のお釜が決壊した時を想定した実験。水の勢いのびっくりする児童たち。

松川の成り立ちと災害の歴史を学びました。

蔵王町の松田さんのユーモアの混じった楽しい授業に率先し質問に答え、メモする児童たち。

松川の砂防工事について聞いてみた

現在行われている松川の砂防工事について、宮城県防災砂防課の方から工事の概要や工夫点を解りやすく説明して頂きました。

宮城県防災砂防課の方からの説明

緊急！

ミッション1

「活火山、蔵王山について、これからも蔵王町のみんなによく知ってもらうにはどうしたらいいか？」

ミッション2

「外国人のかたに、蔵王山を楽しんでもらいながら、噴火が起きることがあることなどを知ってもらうためにはどうしたらいいか？」

この2つの蔵王町の悩みを、みなさんのアイディアで解決し、火山砂防フォーラムでみなさんの声で発表して欲しい。

外国人観光客の多いスキー場や温泉、お釜に近い遠刈田小学校にミッション2、そしてミッション1を永野小学校担当することになった

この取組は2019年度みちのく国づくり支援事業（公益事業）の助成を受け実施されています。
お問い合わせ先：蔵王町環境政策課　松田　　0224-33-3007